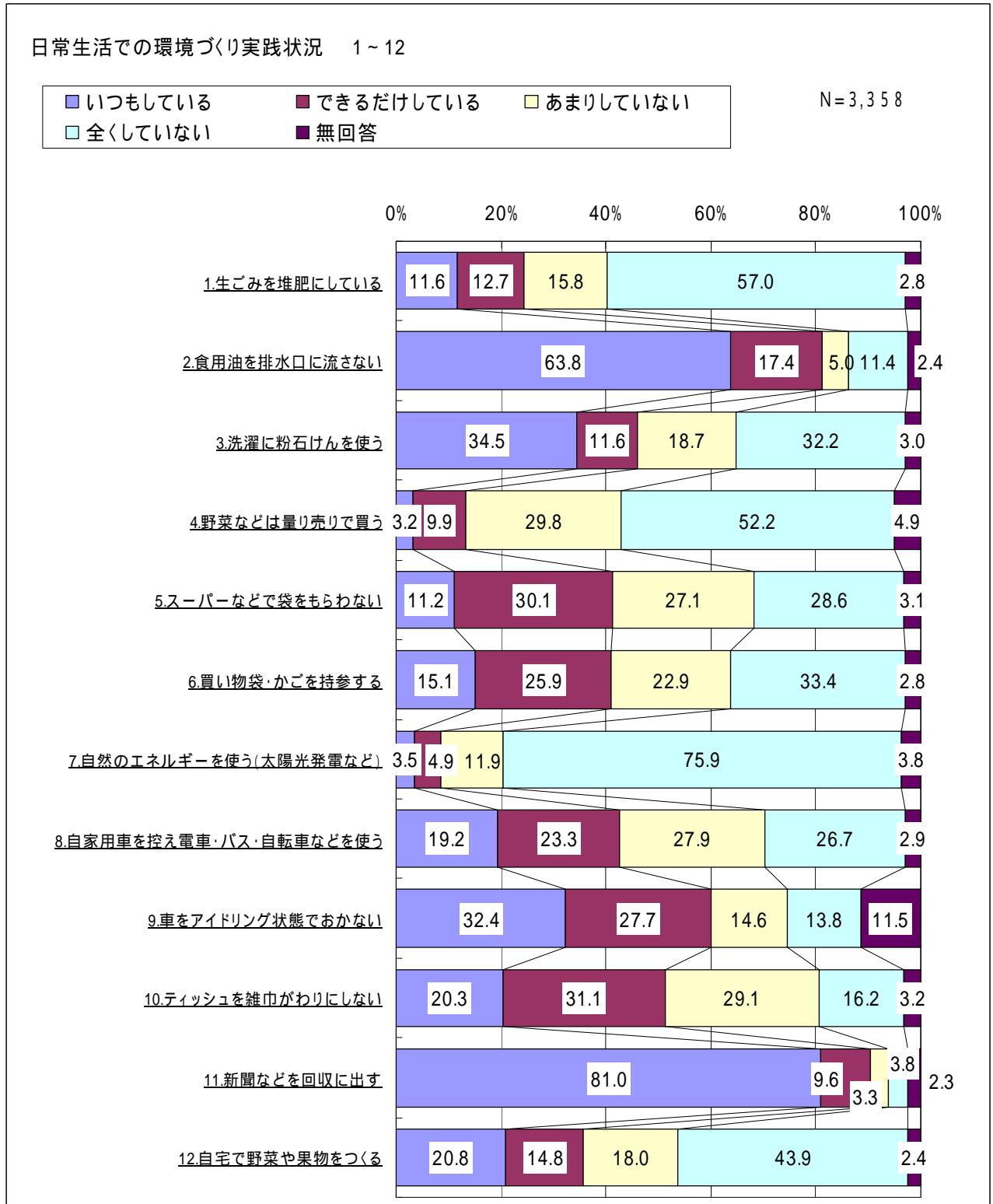


第8章 環境に優しいライフスタイルの実践について

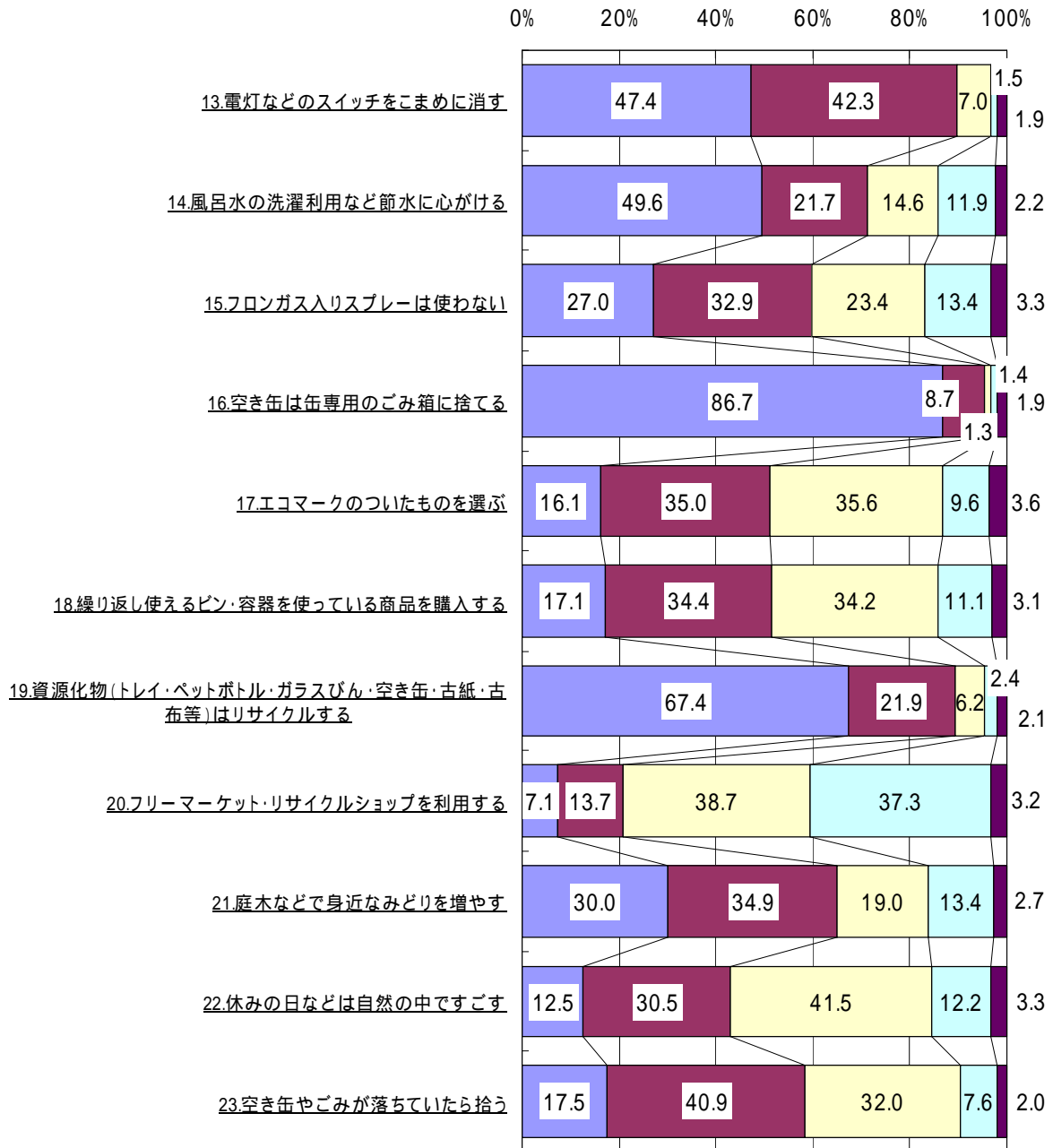
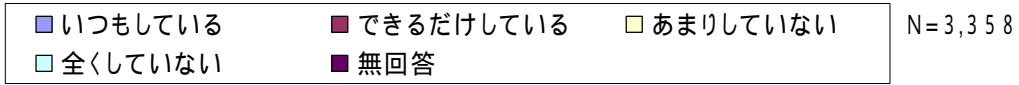
(1) 日常生活の中での環境づくりについて

「空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる」が第一位の行動

問27 あなたは日常生活の中で環境づくりに関する次のような行動をしていますか。



日常生活での環境づくり実践状況 13～23



「いつもしている」または「できるだけしている」と回答した人の割合 上位5位

(単位：%)

	項目	いつもしている	できるだけしている	あまりしていない	全くしていない	無回答
1	16. 空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる	86.7	8.7	1.3	1.4	1.9
2	11. 新聞などを回収に出す	81.0	9.6	3.3	3.8	2.3
3	13. 電灯などのスイッチをこまめに消す	47.4	42.3	7.0	1.5	1.9
4	19. 資源化物はリサイクルする	67.4	21.9	6.2	2.4	2.1
5	2. 食用油を排水口に流さない	63.8	17.4	5.0	11.4	2.4

「いつもしている」または「できるだけしている」と回答した人は「空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる」という項目が最も高く、合わせて95.4%であった。

「全くしていない」または「あまりしていない」と回答した人の割合 上位5位

(単位：%)

	項目	いつもしている	できるだけしている	あまりしていない	全くしていない	無回答
1	7. 自然のエネルギーを使う(太陽光発電など)	3.5	4.9	11.9	75.9	3.8
2	4. 野菜などは量り売りで買う	3.2	9.9	29.8	52.2	4.9
3	20. フリーマーケット・リサイクルショップを利用する	7.1	13.7	38.7	37.3	3.2
4	1. 生ごみを堆肥にしている	11.6	12.7	15.8	57.0	2.8
5	12. 自宅で野菜や果物をつくる	20.8	14.8	18.0	43.9	2.4

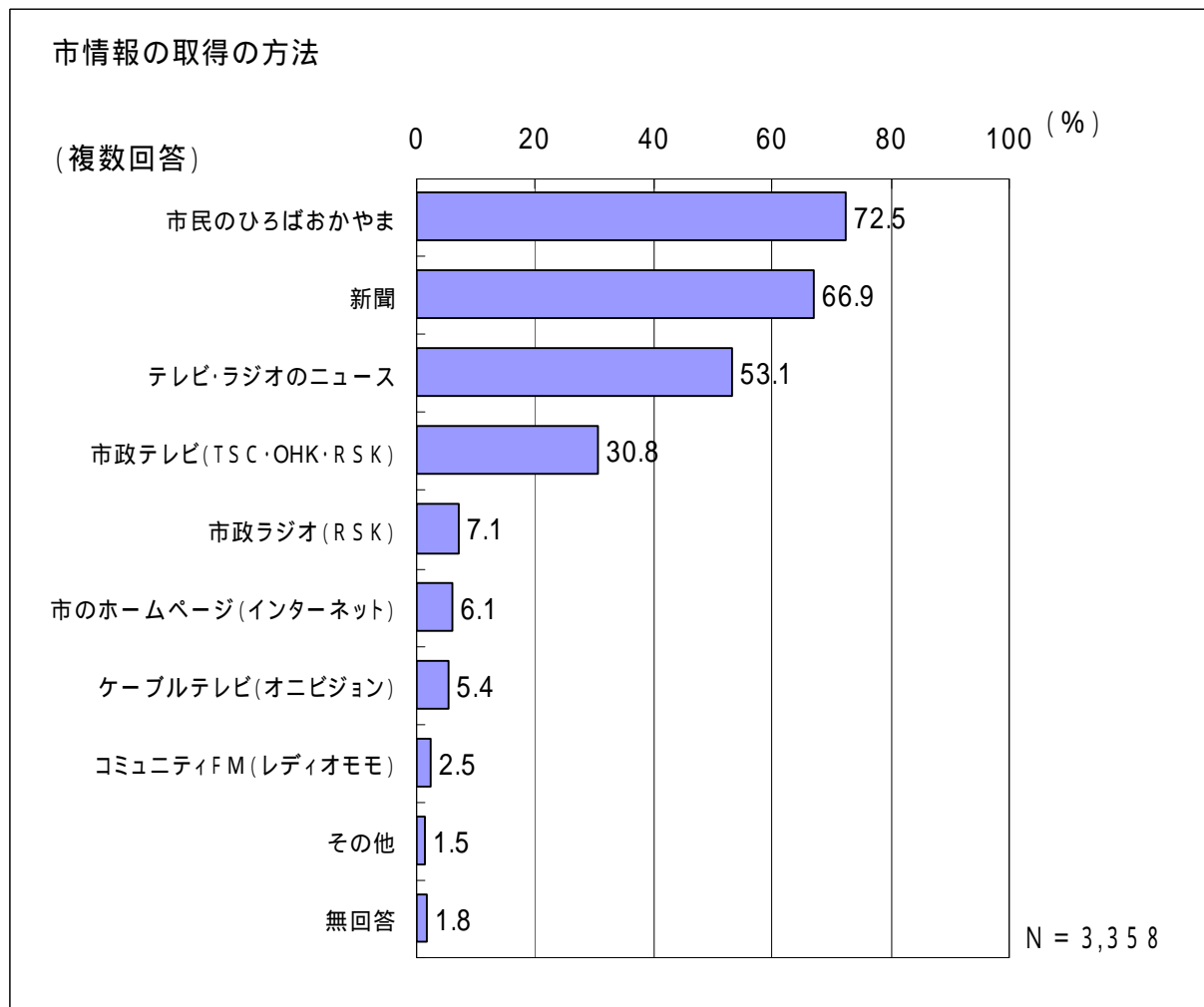
「全くしていない」または「あまりしていない」と回答した人は、「自然のエネルギーを使う(太陽光発電など)」の項目が最も高く、合わせて87.8%であった。

第9章 市の広報について

(1) 市の情報取得の方法

「市民のひろばおかやま」が最も多く 72.5%

問28 あなたは、市の情報を何から得ていますか。(複数回答)

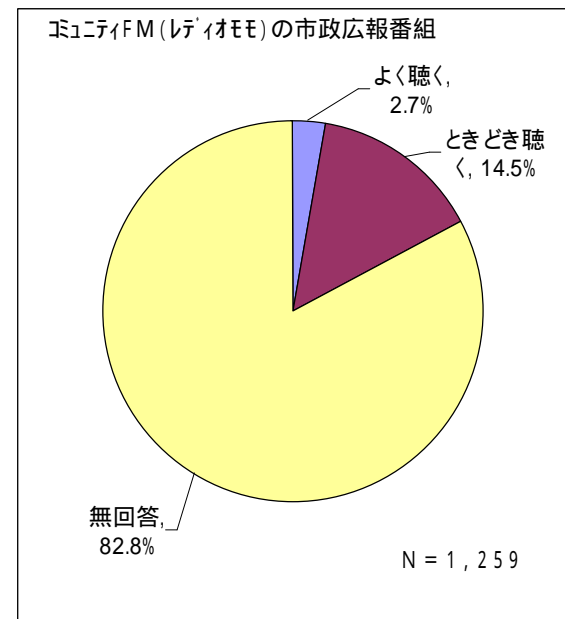
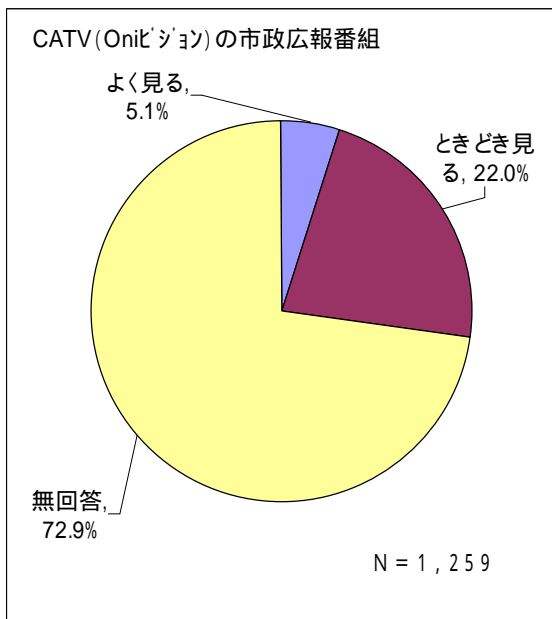
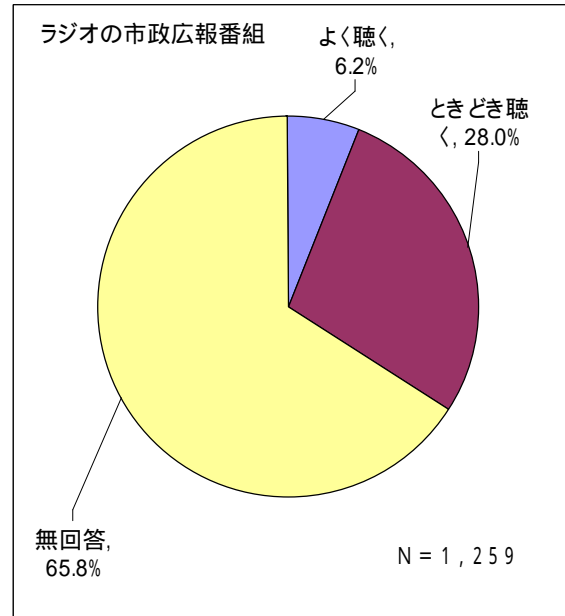
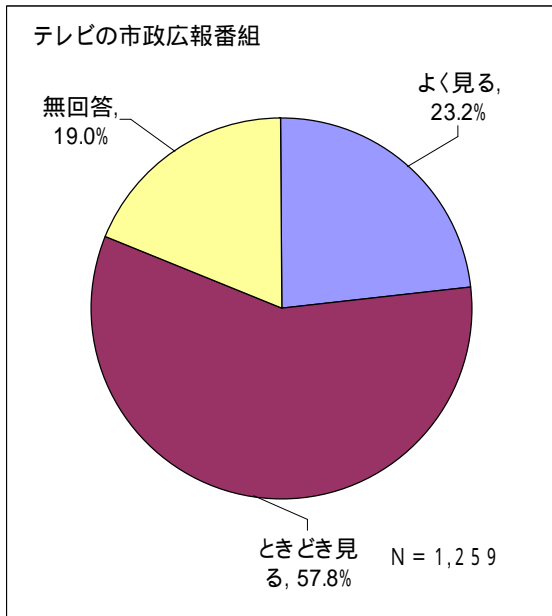


市の情報を何から得ているかたずねたところ上記のように「市民のひろばおかやま」と回答した人の割合は、72.5%と最も高く、次いで「新聞」(66.9%)、「テレビ・ラジオのニュース」(53.1%)となっている。

(2) テレビ・ラジオの市政広報番組の利用頻度

よく見る(聴く)のは「市政テレビ」

問29 テレビ・ラジオの市政広報番組を、どの程度見て(聴いて)いますか。

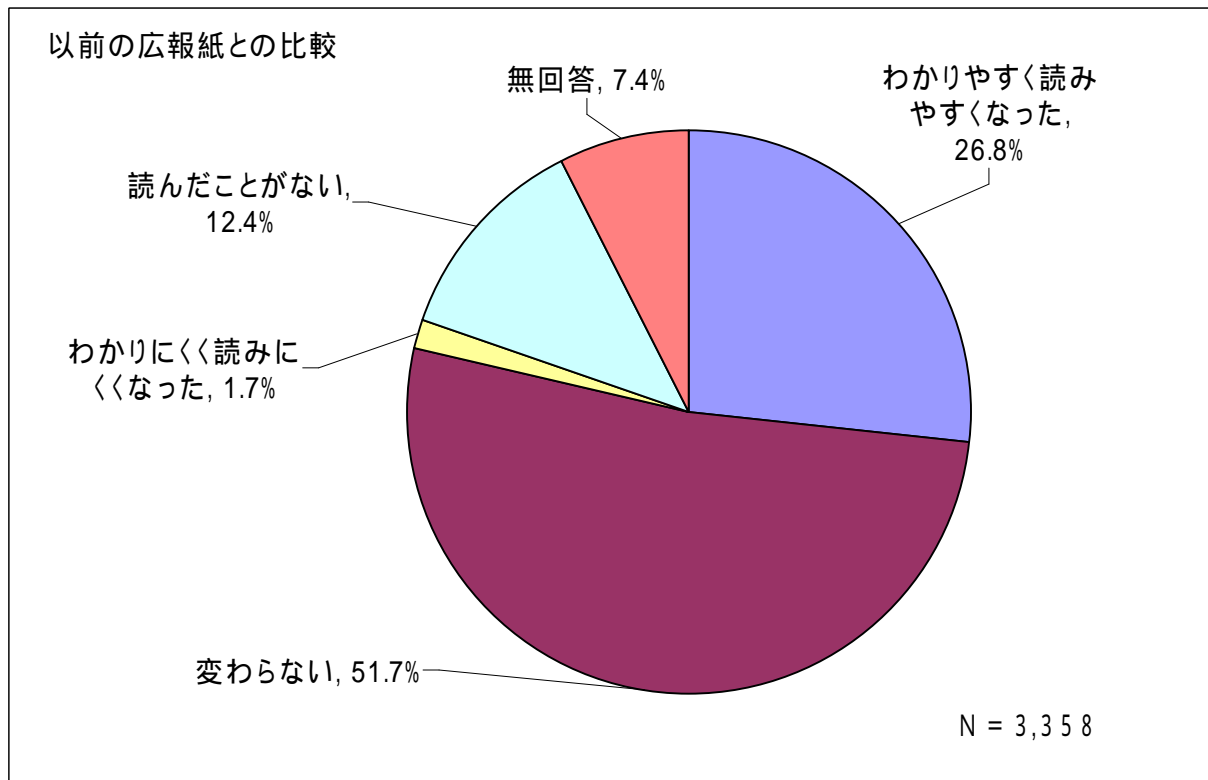


テレビの市政広報番組を「よく見る」と答えられた方は23.2%、ラジオの市政広報番組を「よく聴く」と答えられた方は6.2%、CATV(Oniビジョン)の市政広報番組は5.1%、コミュニティFM(レディオモモ)の市政広報番組は2.7%となっている。

(3) 以前の広報紙との比較

「わかりやすく読みやすくなった」が26.8%

問30 広報紙「市民のひろばおかやま」についておたずねします。平成19年6月号から、レイアウトなどを変更していますが以前の広報紙と比べてどうですか。

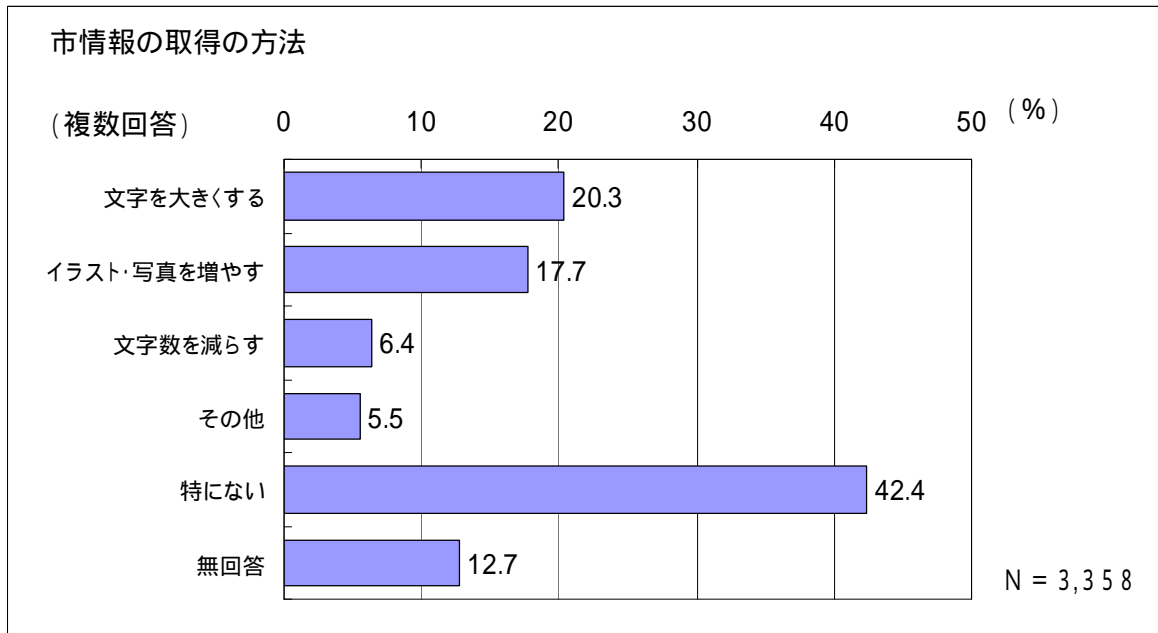


広報紙が「わかりやすく読みやすくなった」と回答した人の割合は26.8%。逆に「わかりにくく読みにくくなった」が1.7%と少ない。

(4) 「市民のひろばおかやま」改善点

「文字を大きくする」が20.3%、「イラスト・写真を増やす」が17.7%

問31 あなたが、「市民のひろばおかやま」について改善したほうが良いと思うことは何ですか。(複数回答)



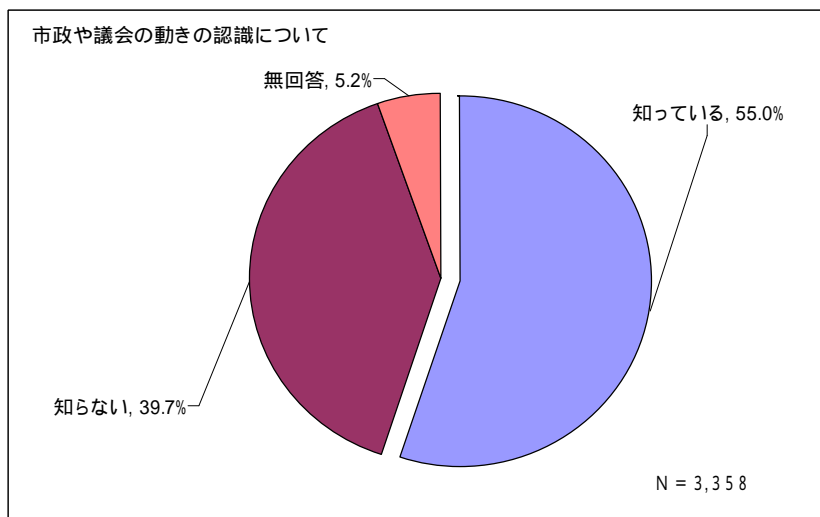
「市民のひろばおかやま」について改善したほうが良いと思うことは何ですかとたずねたところ、「文字を大きくする」と回答した人の割合は20.3%で最も多く、続いて「イラスト・写真を増やす」(17.7%)となっている。

第 10 章 市議会の広報について

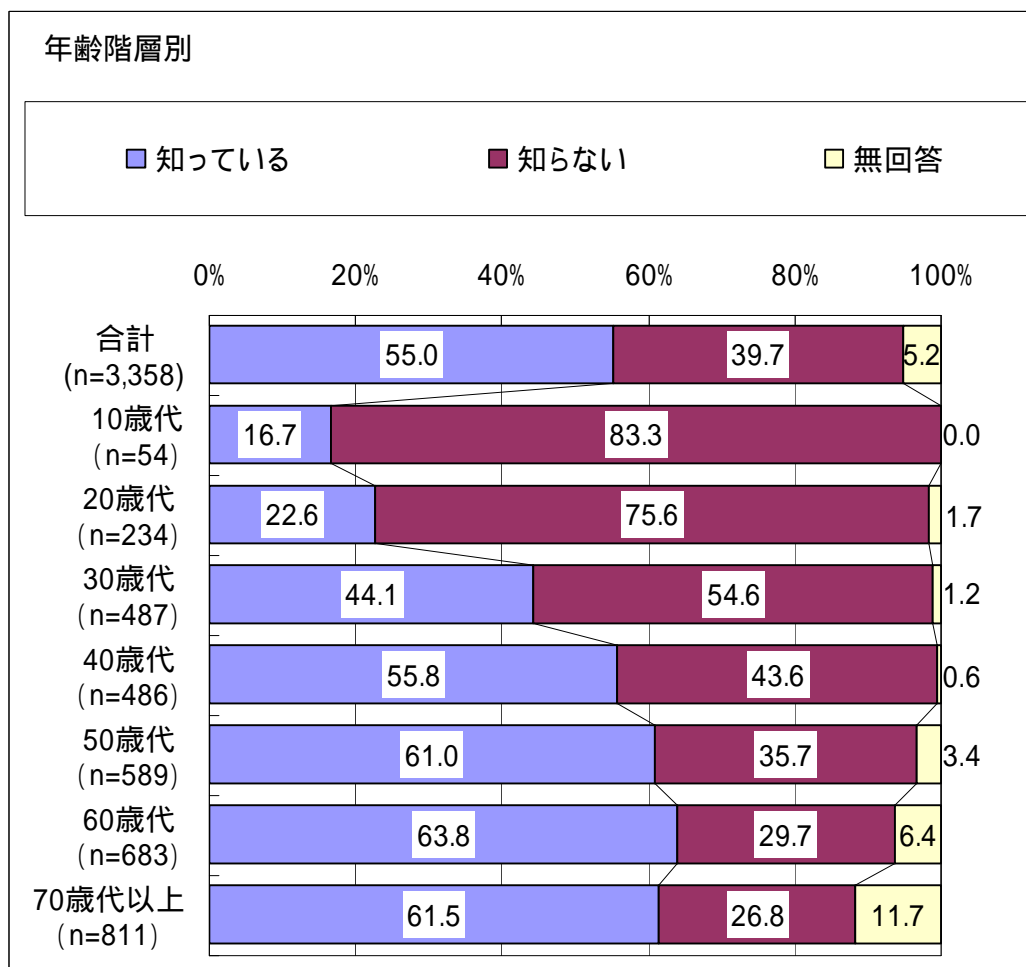
(1) 市政や議会の動きの認識について

「知っている」人が 55.0%

問32 岡山市議会では、「市議会だより」や「市議会ホームページ」などさまざまな手段により、市政や議会の動きをお知らせしていますが、ご存じですか。(単数回答)



市政や議会の動きを知っているかどうかたずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は 55.0%であるが、反対に「知らない」は 39.7%となっている。



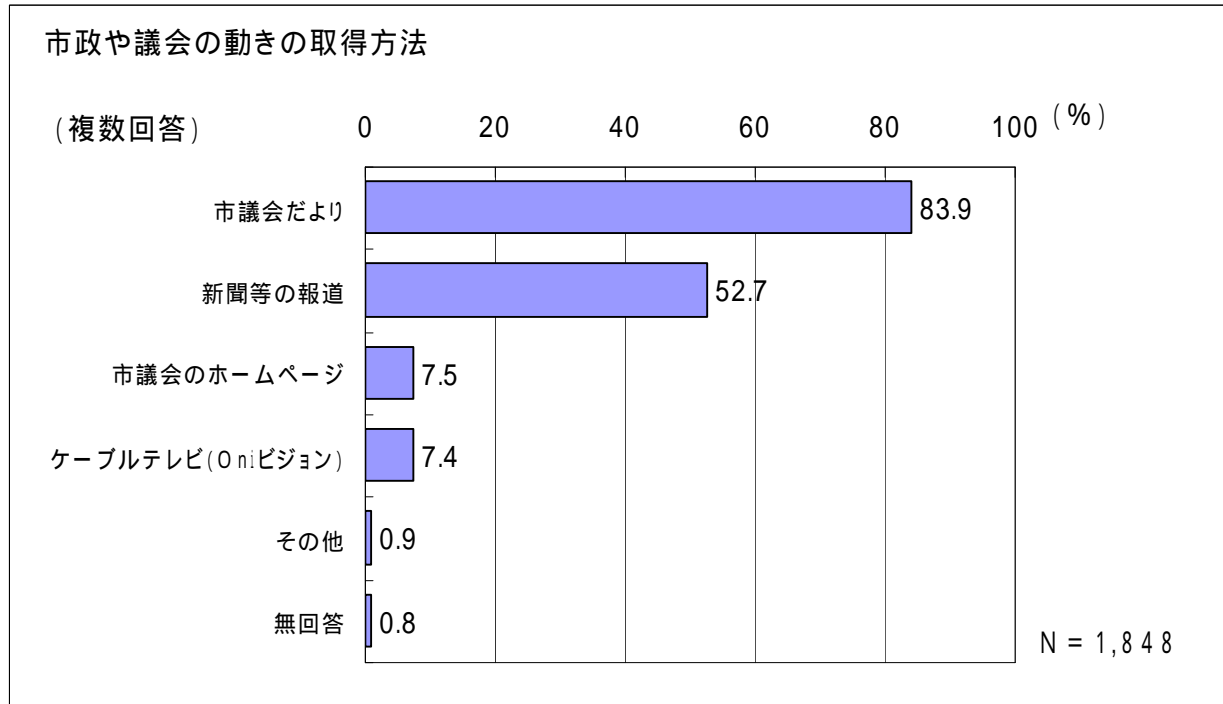
年齢階層別で見れば、10歳代(83.3%)、20歳代(75.6%)が「知らない」割合が高い。

(3)「知っている」人に対して

知っているものは「市議会だより」の83.9%

問32で「知っている」と答えられた方におたずねします。

問32-1 知っているものをお答え下さい。(複数回答)

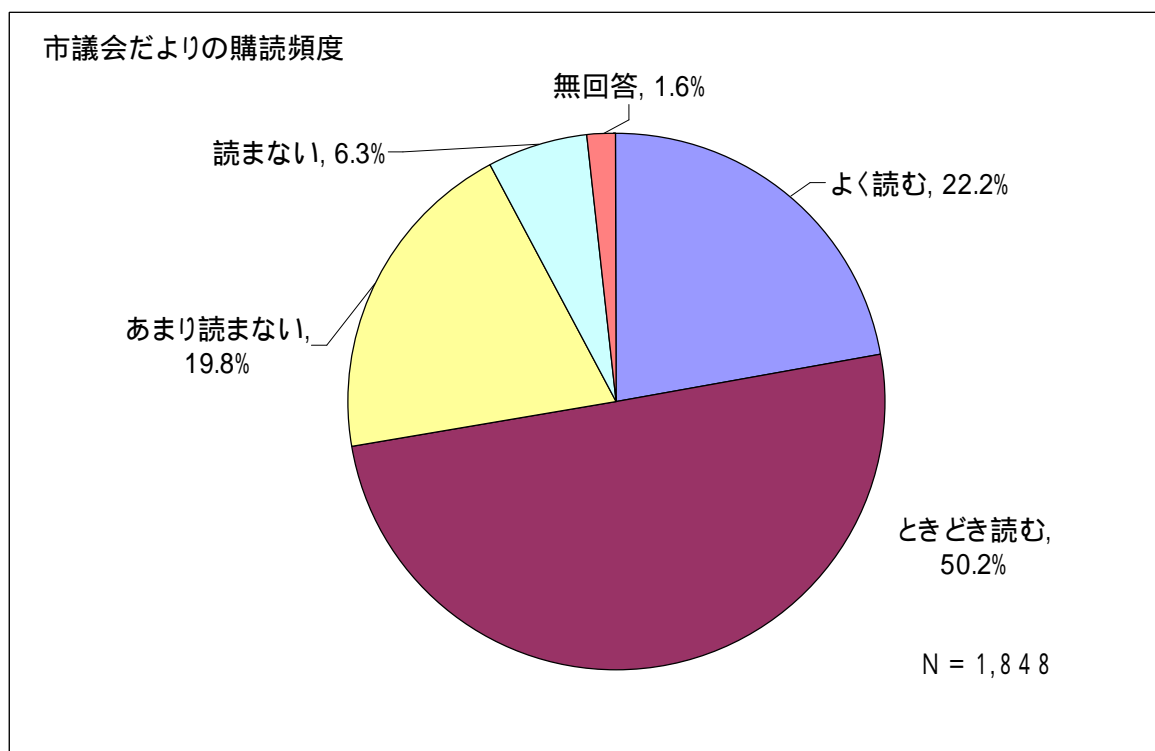


市政や議会の動きを知るのに何を媒体にしているかたずねたところ、「市議会だより」が83.9%と突出して高い。

(4)「市議会だより」がどの程度読まれているか

「よく読む」、「ときどき読む」人は合わせて72.4%

問 32-2 「市議会だより」は定例会ごとに原則として年4回発行していますが、よく読まれていますか。(単数回答)



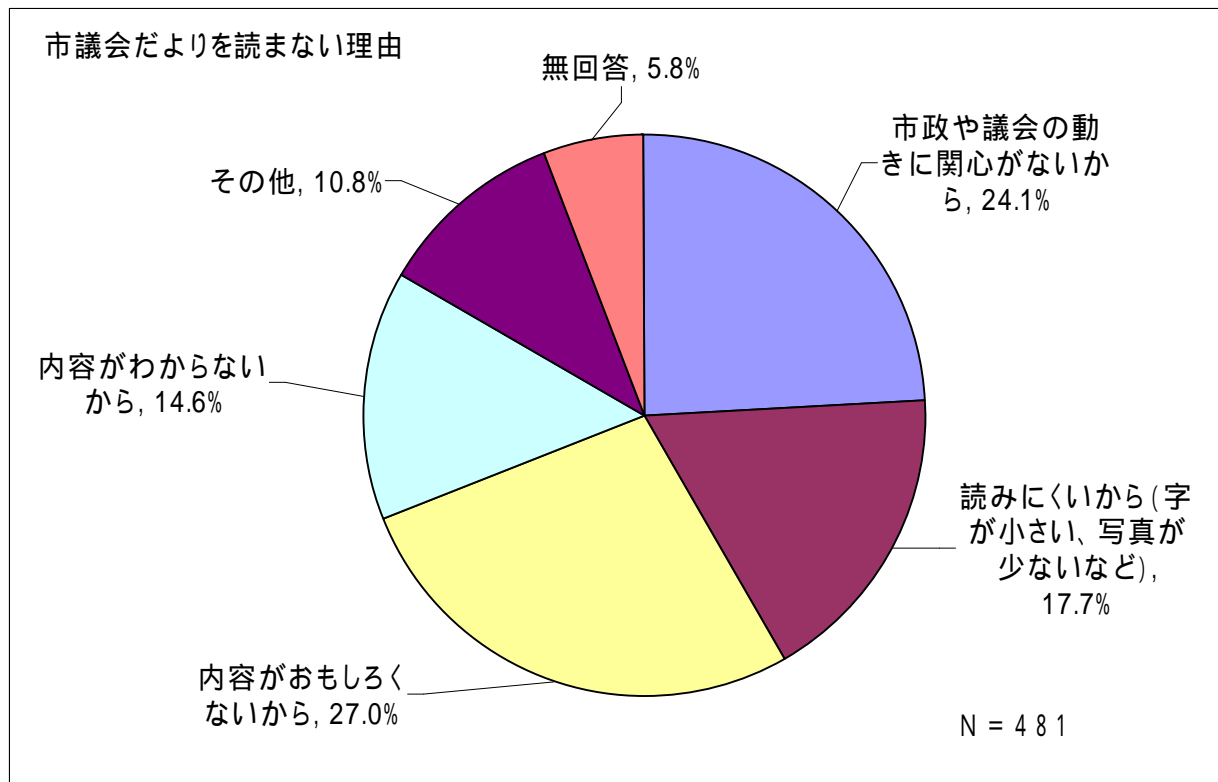
「市議会だより」がどの程度読まれているかたずねたところ、「よく読む」と回答した人の割合は22.2%で、「ときどき読む」(50.2%)と回答した人と合わせて72.4%である。

(5) 「あまり読まない」、「読まない」理由

「あまり読まない」「読まない」理由は、「内容がおもしろくないから」「市政や議会の動きに関心がないから」合わせて51.1%

問32-2で「あまり読まない」「読まない」と答えられた方におたずねします。

問32-3 それはどうしてですか。(単数回答)



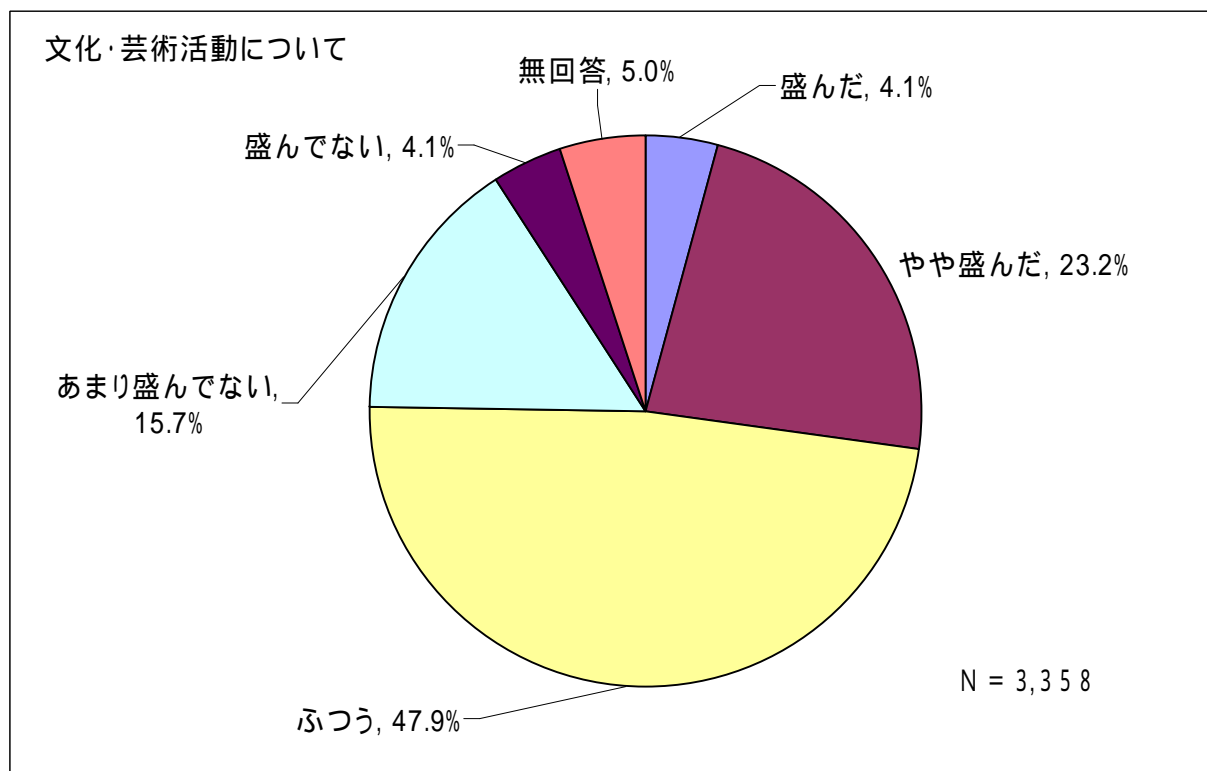
「あまり読まない」「読まない」と答えられた方へその理由をたずねたところ、「内容がおもしろくないから」が27.0%、次いで「市政や議会の動きに関心がないから」(24.1%)と続いている。

第 11 章 文化振興について

(1) 岡山市内での文化・芸術活動について

「盛んだ」、「やや盛んだ」を合わせると 27.3%

問 34 岡山市内で文化や芸術に関する催しや活動が盛んだと思いますか。(単数回答)



岡山市内で文化や芸術に関する催しや活動が盛んであるかとたずねたところ、「盛んだ」は 4.1%、「やや盛んだ」は 23.2%で合計して 27.3%である。

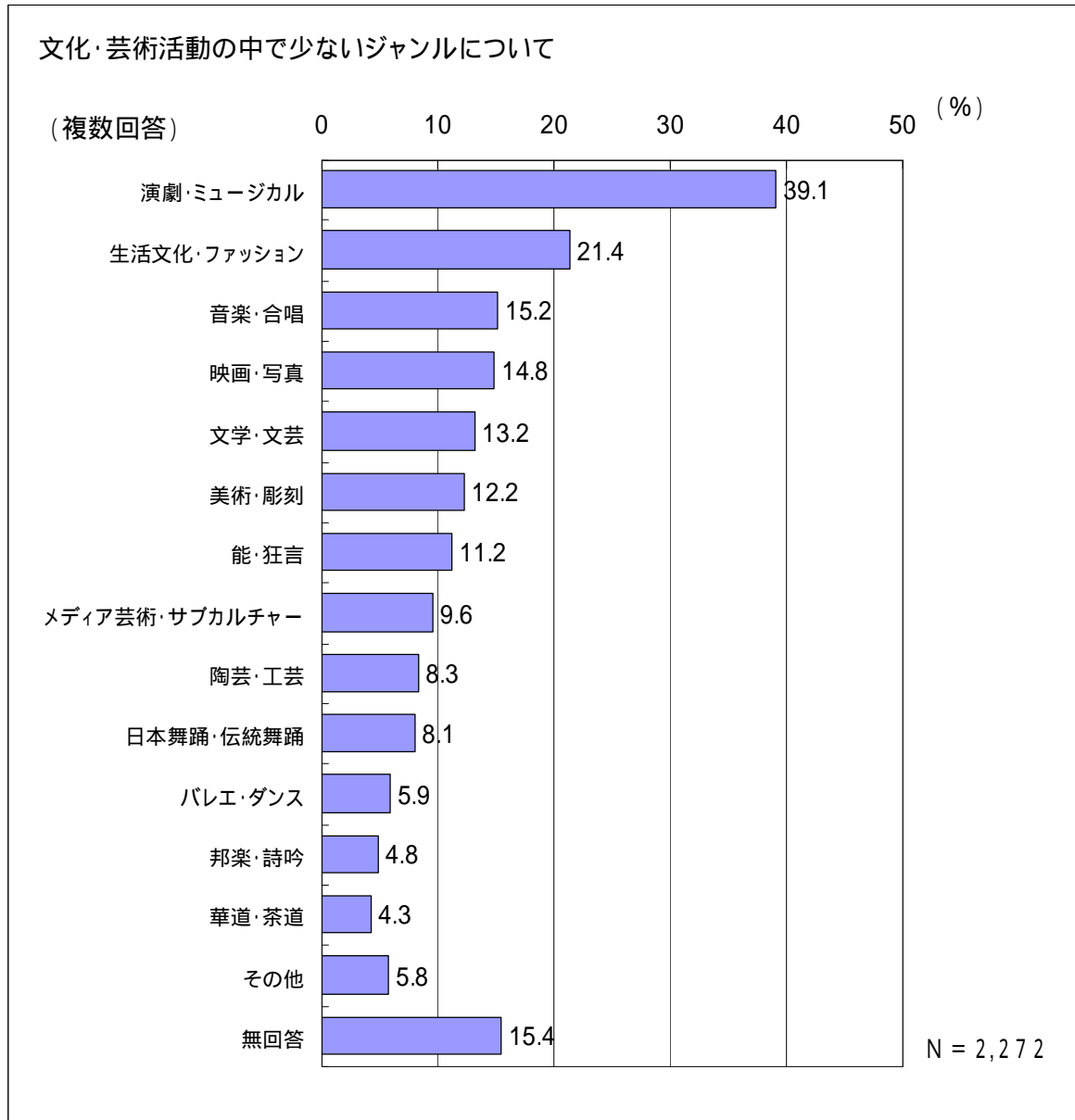
一方、「盛んでない」、「あまり盛んでない」は両者合わせて、19.8%となっている。

(2) 文化・芸術活動の中で特に少ないジャンル

少ないジャンルは、「演劇・ミュージカル」、「生活文化・ファッション」

問34で「ふつう」「あまり盛んでない」「盛んでない」と答えられた方におたずねします。

問35 文化や芸術の中でどのジャンルが少ないと感じますか。(複数回答)

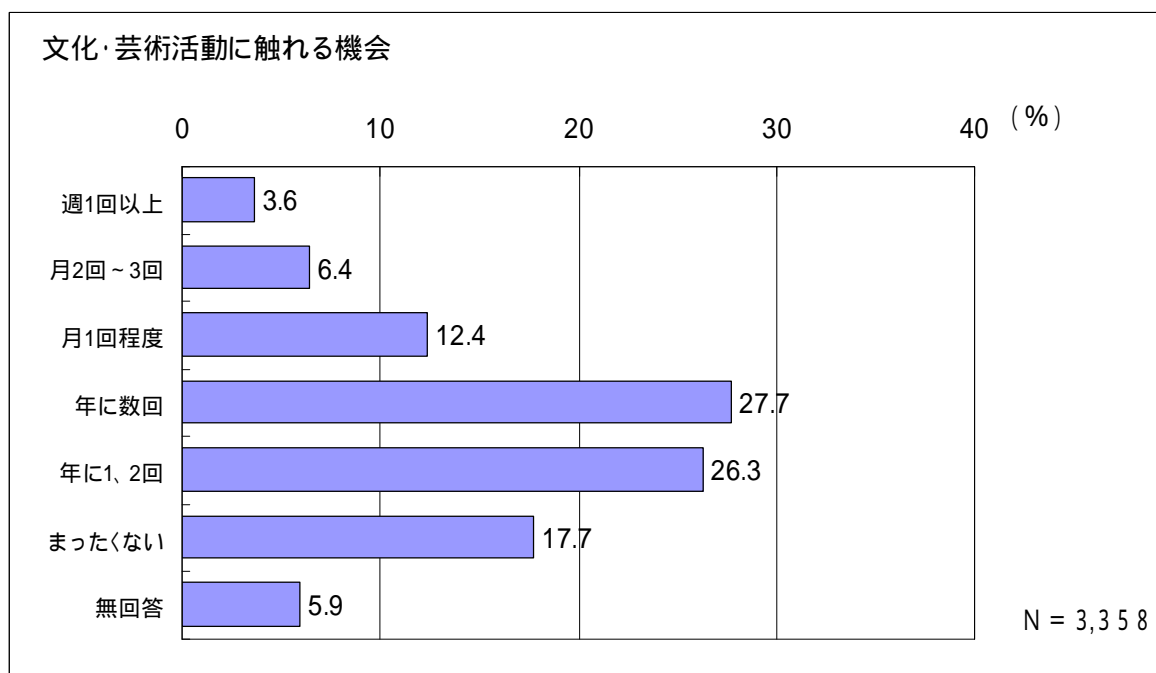


文化・芸術活動の中で特に少ないジャンルはなにかとたずねたところ、「演劇・ミュージカル」が39.1%、次いで「生活文化・ファッション」で21.4%となっている。

(3) 文化・芸術活動に触れる機会

文化や芸術に触れる機会は、「年に数回」がトップで 27.7%

問 36 文化や芸術に触れる機会を教えてください。(単数回答)

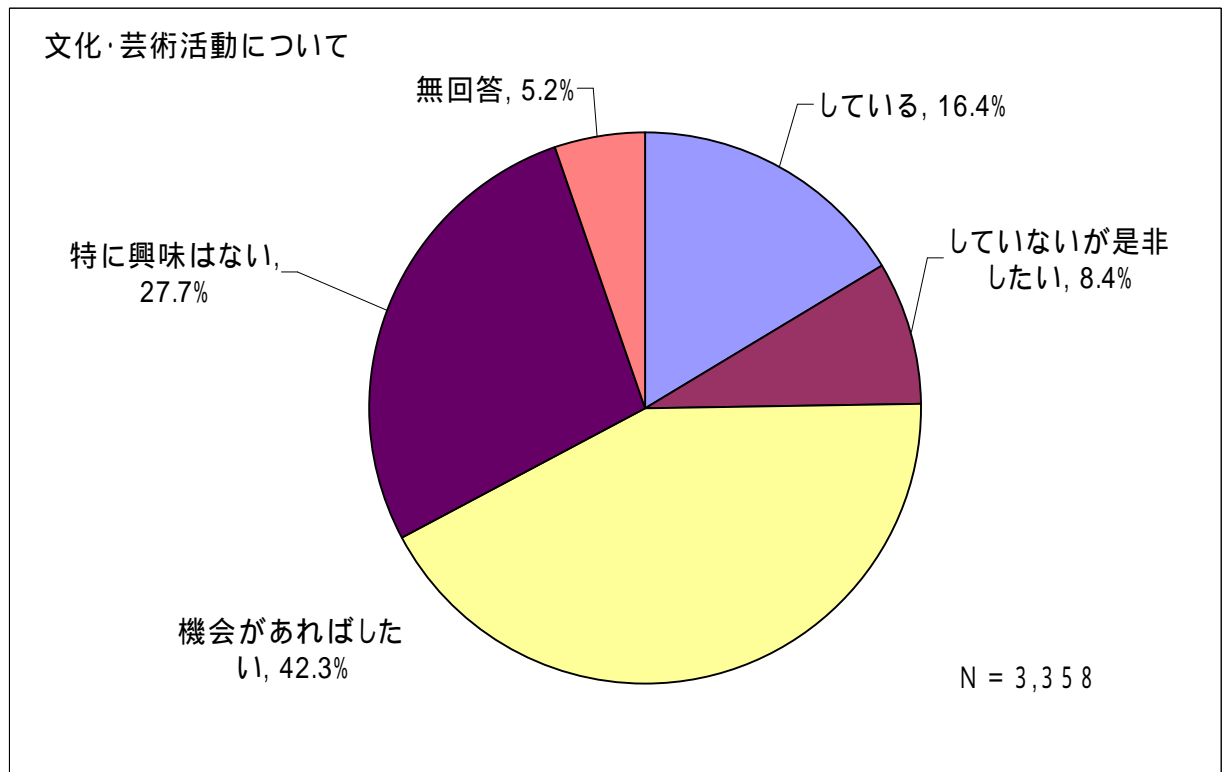


文化や芸術に触れる機会についてたずねたところ、「年に数回」と回答した人の割合は 27.7%と最も多く、次いで「年に1、2回」(26.3%)であるが、一方「まったくない」という回答も 17.7%ある。

(4) ご自身の文化、芸術活動について

「している」人が16.4%

問37 あなた自身なんらかの文化活動や芸術活動をしていますか。(単数回答)



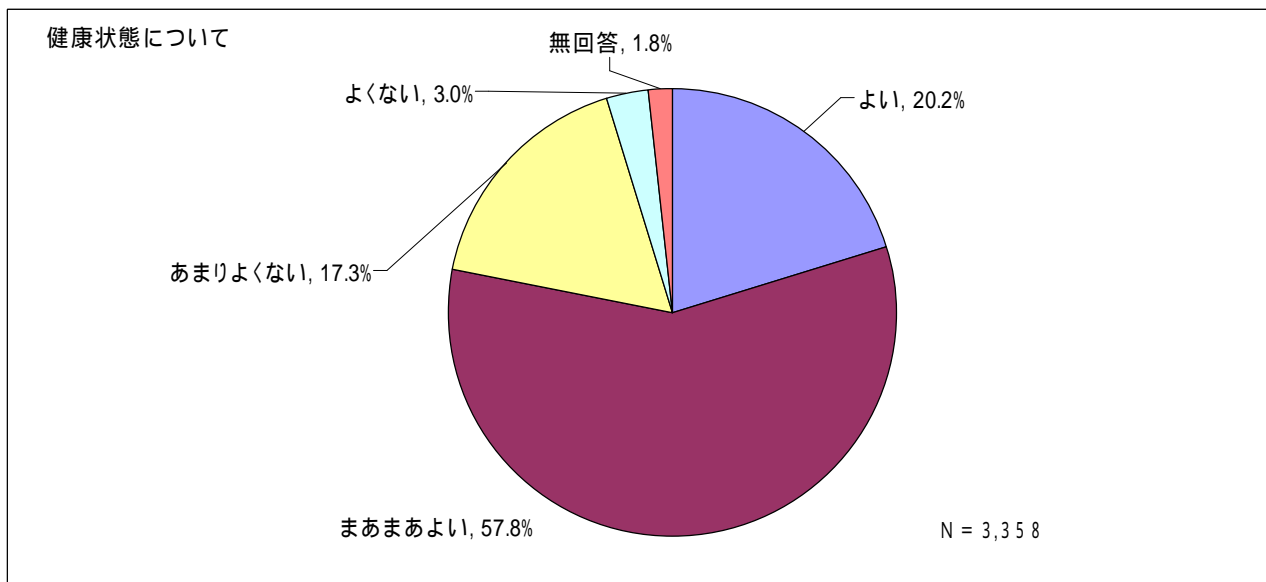
なんらかの文化活動や芸術活動をしているかたずねたところ、「している」と回答した人の割合は16.4%となっている。しかし、「機会があればしたい」(42.3%)、「していないが是非したい」(8.4%)を合わせると50.7%となる。

第12章 健康づくりについて

(1) 現在の健康状態について

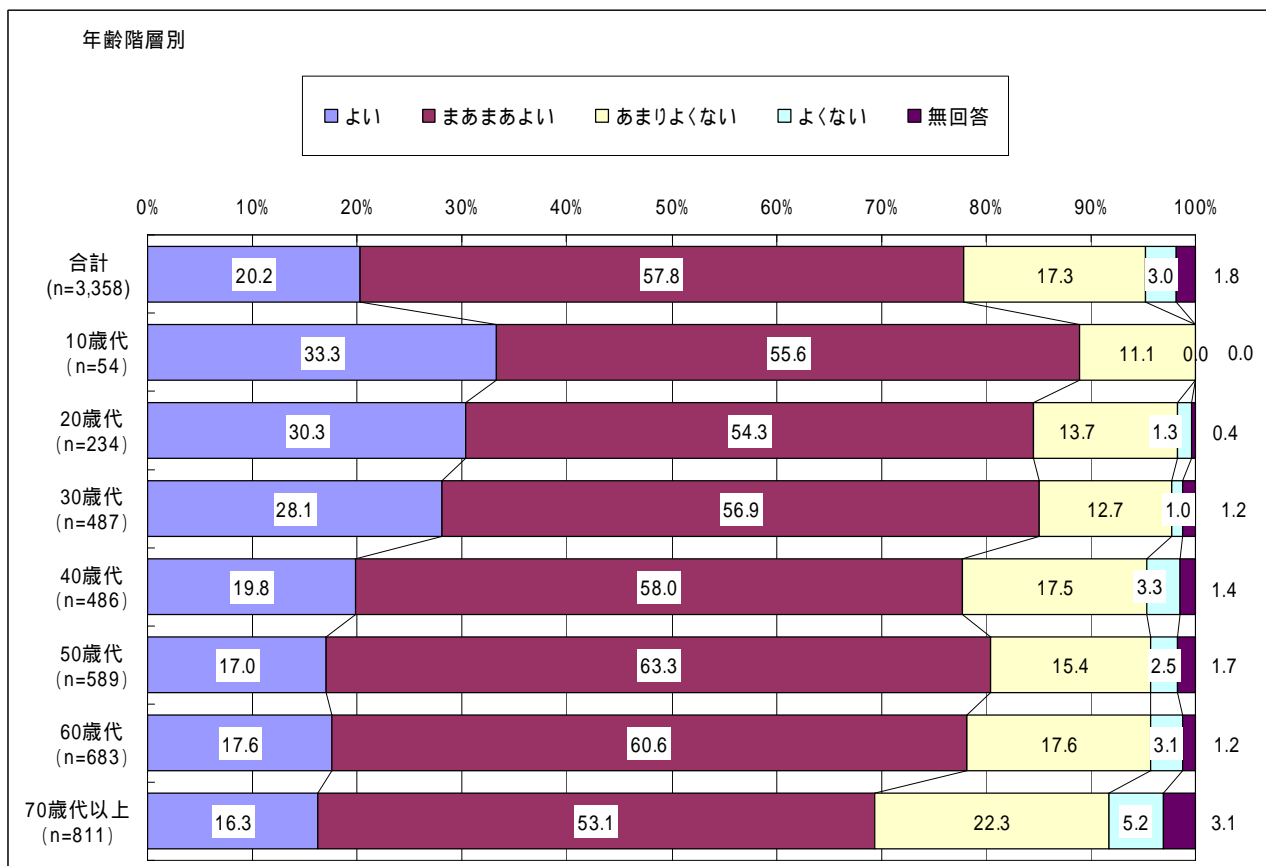
「よい」、「まあまあよい」は合わせて78.0%

問38 現在の健康状態をどのように感じていますか。(単数回答)



現在の健康状態をどのように感じているかとたずねたところ、「よい」と回答した人の割合20.2%で、「まあまあよい」は57.8%となっている。

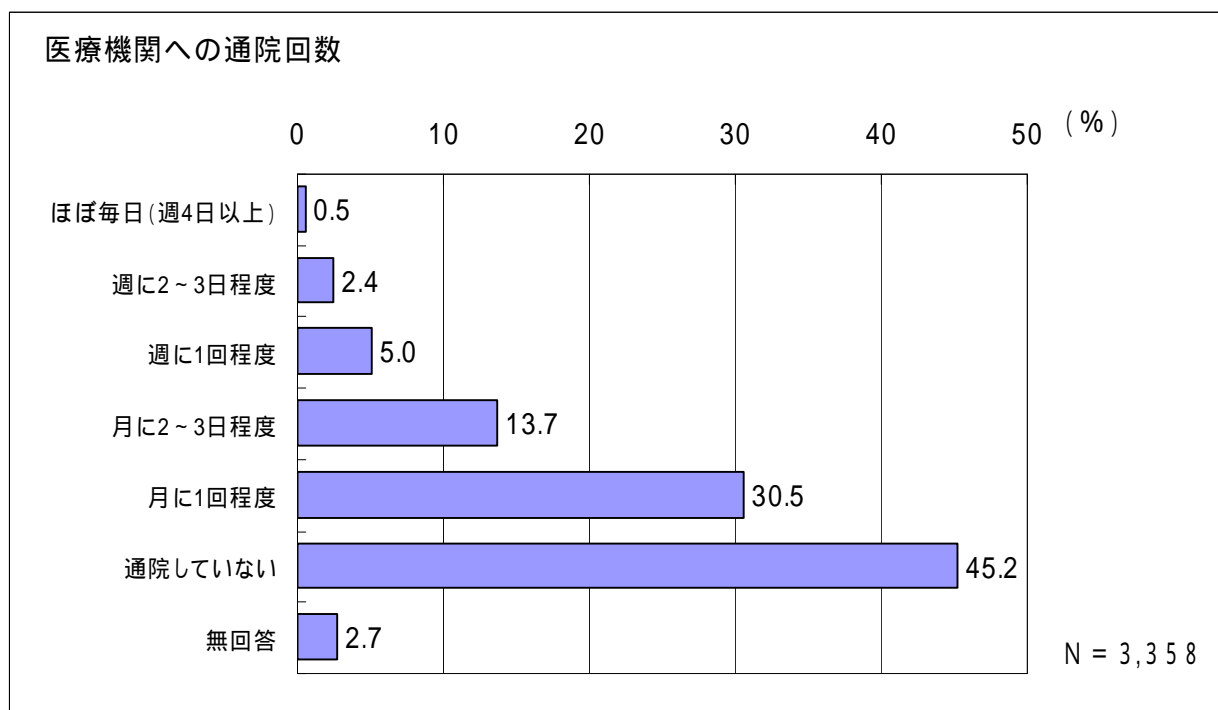
年齢層別にみれば、年齢が高くなるにつれて「よい」が低くなる傾向にある。



(2) 医療機関への通院回数

月に1回以上通院する人は52.1%

問39 医療機関にどの程度通院していますか。(単数回答)

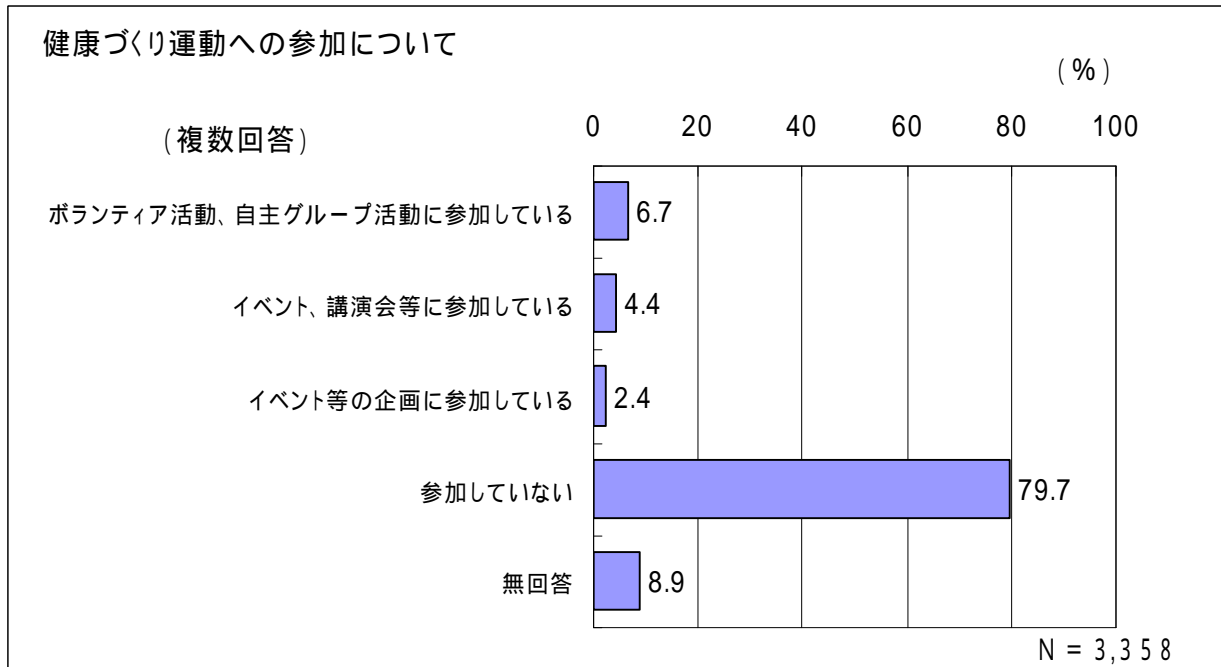


医療機関にどの程度通院しているかとたずねたところ、「月に一回程度」と回答した人の割合は、30.5%で、月に一回以上通院する人の割合は合計すると52.1%となっている。

(3)「健康づくり運動」への参加について

何らかのかたちで「参加している」人は合わせて 13.5%

問40 地域で行われている「健康づくり運動」に参加していますか。(複数回答)



「健康づくり運動」に参加しているかとたずねたところ、「ボランティア活動、自主グループ活動に参加している」と回答した人の割合が 6.7%となっており、何らかのかたちで「参加している人」を合わせると 13.5%となっている。

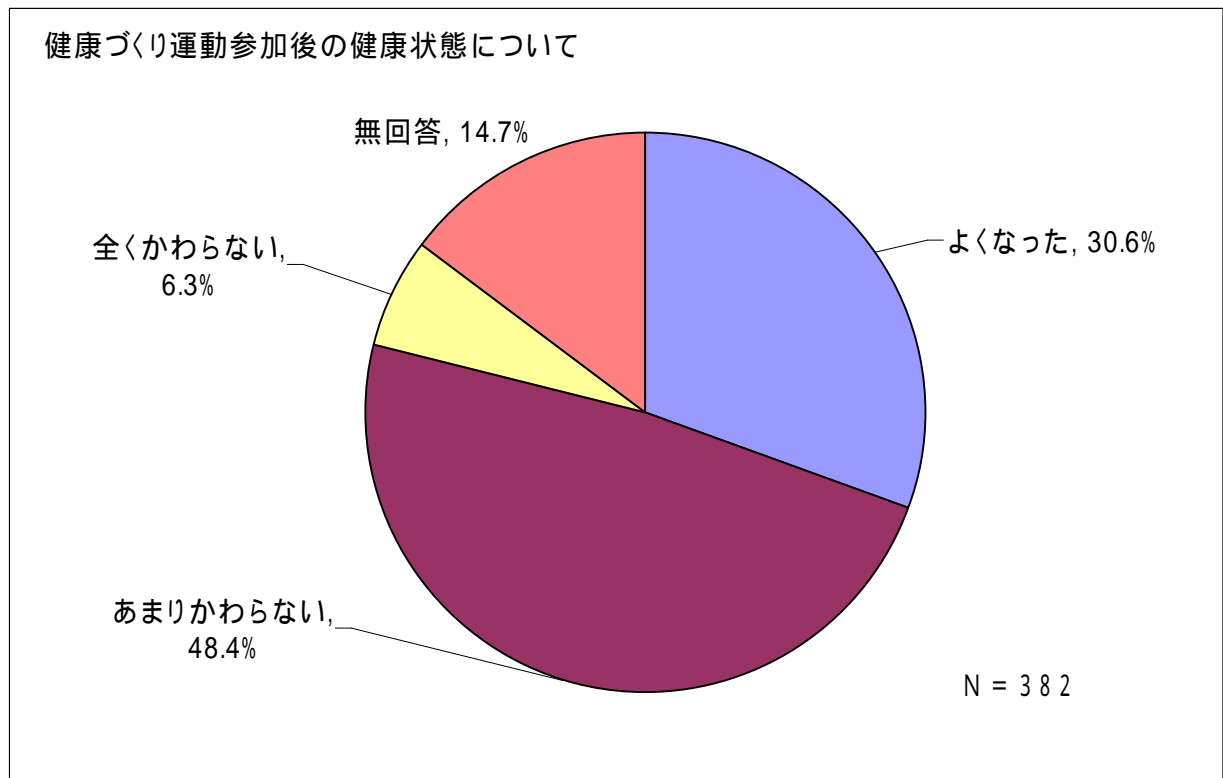
(4)「健康づくり運動」への参加後の健康状態について

運動後、「よくなった」人は30.6%

問40で「健康づくり運動」に「参加している」とお答えされた方にお尋ねします。

問40-1「健康づくり運動」に参加して健康状態はどのように変わりましたか。

(単数回答)



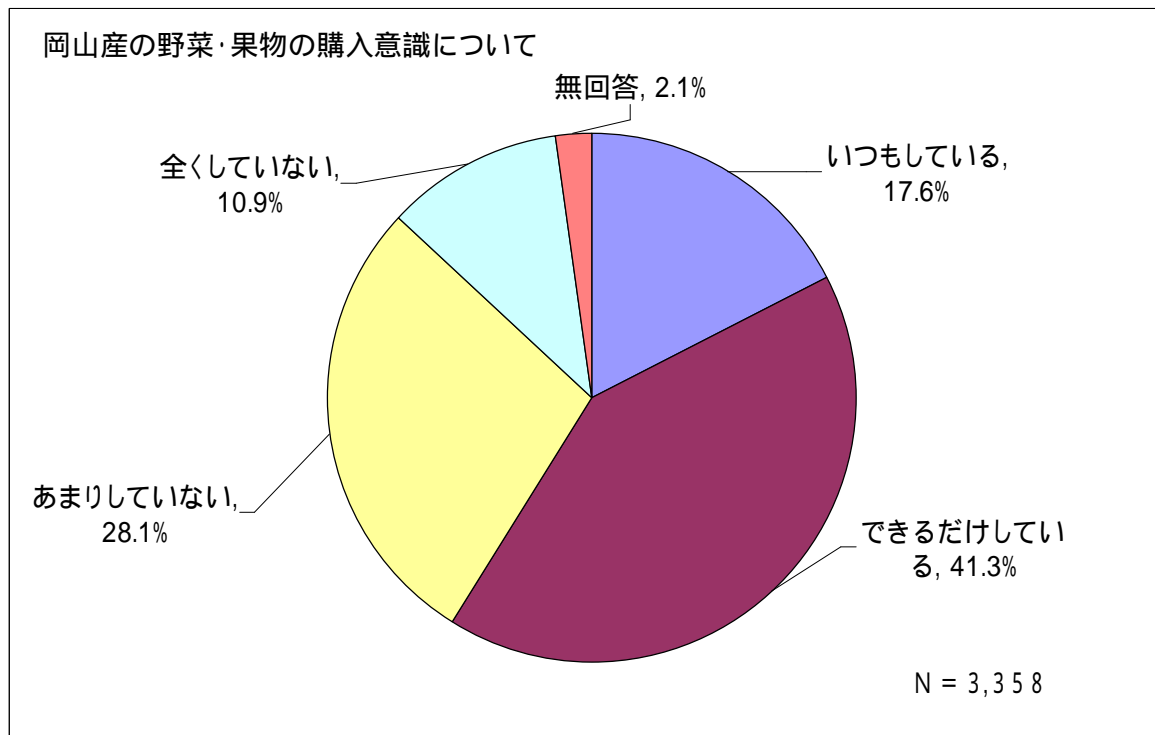
「健康づくり運動」に参加して健康状態はどのように変わりましたかとたずねたところ、「よくなった」と回答した人の割合は30.6%となっている。

13章 地産地消の推進について

(1) 岡山産の野菜・果物の購入意識について

「いつも意識している」人が 17.6%

問 41 あなたは、野菜や果物などを購入するとき、岡山産を意識しますか。(単数回答)

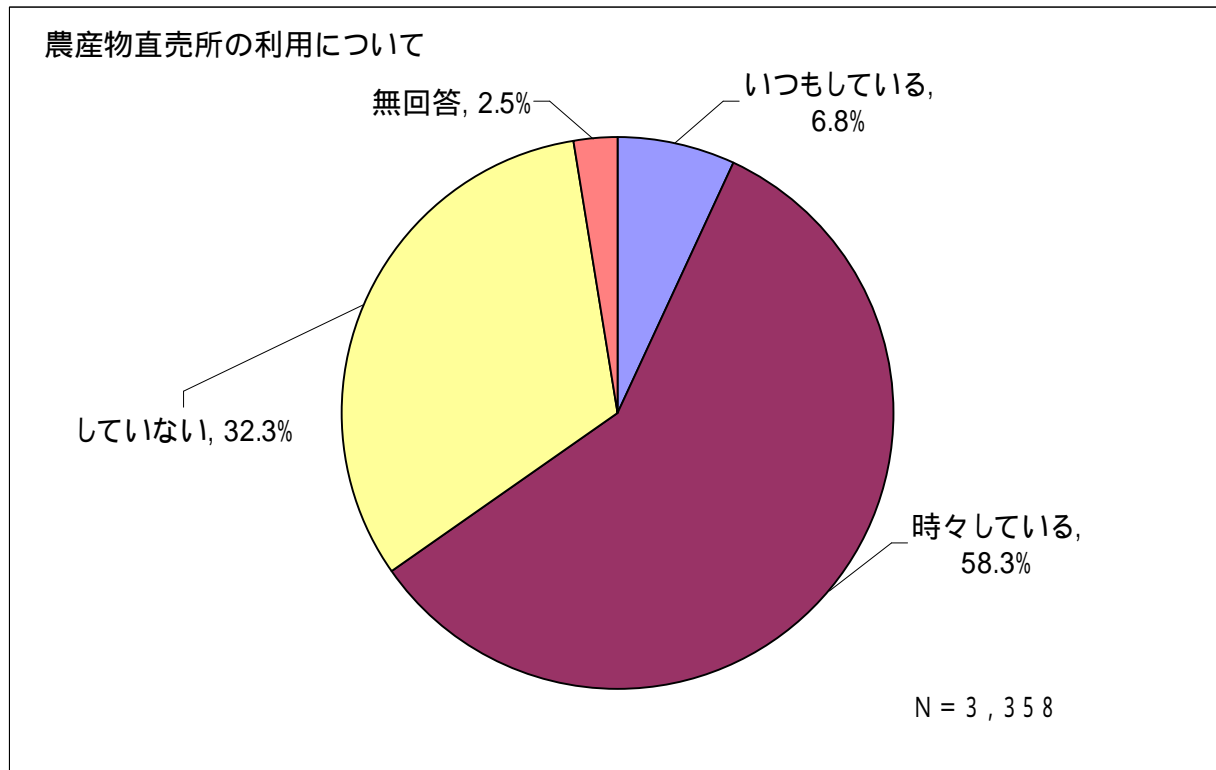


野菜や果物を購入するとき、岡山産を意識しますかとたずねたところ、「いつもしている」と回答した人の割合は 17.6%、「できるだけしている」は、41.3%で、合わせると 58.9%の人が意識しているになっている。

(2) 農産物直売所や産直市での買い物について

「いつもしている」、「時々している」人を合わせて65.1%

問42 あなたは農産物直売所や産直市で買い物をしていますか。(単数回答)

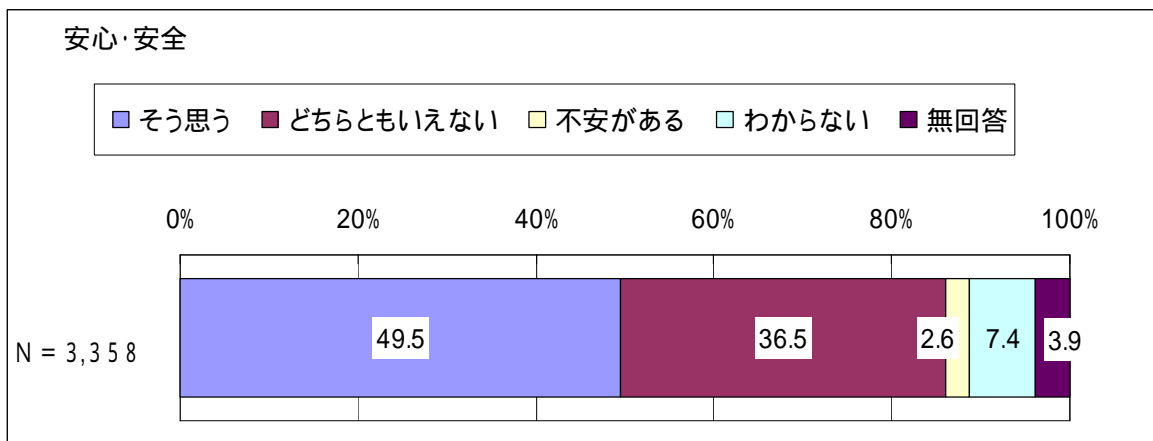
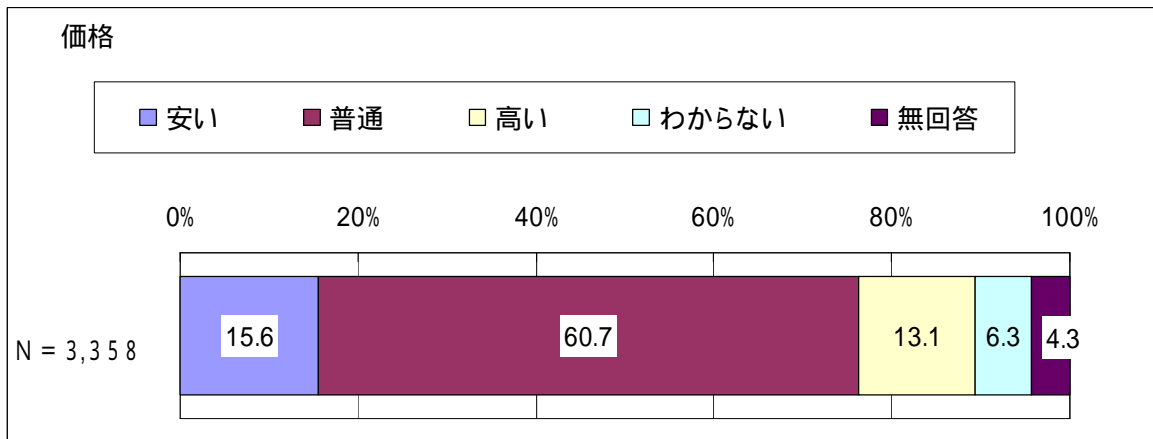
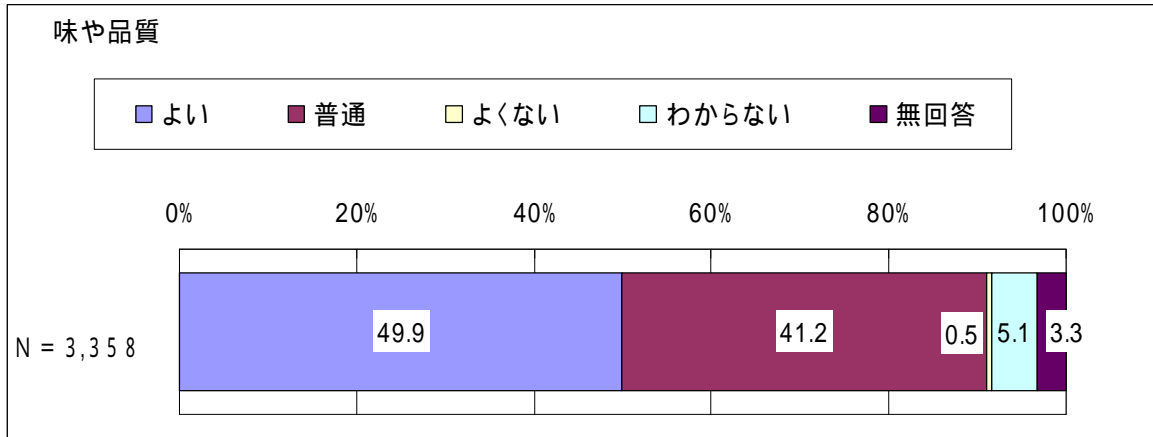


農産物直売所や産直市で買い物をしているかとたずねたところ、「いつもしている」と回答した人の割合は、6.8%、「時々している」は58.3%で、合わせると65.1%となっている。

(3) 岡山産の野菜・果物へのイメージ

岡山産は「味や品質」が良い、「安心安全」という良いイメージを持っている

問 43 岡山産の野菜に対し、どのようなイメージを持っていますか。(単数回答)



岡山産は「味や品質」が良い(49.9%)、「安心安全」(49.5%)という良いイメージを持っている人が多い。

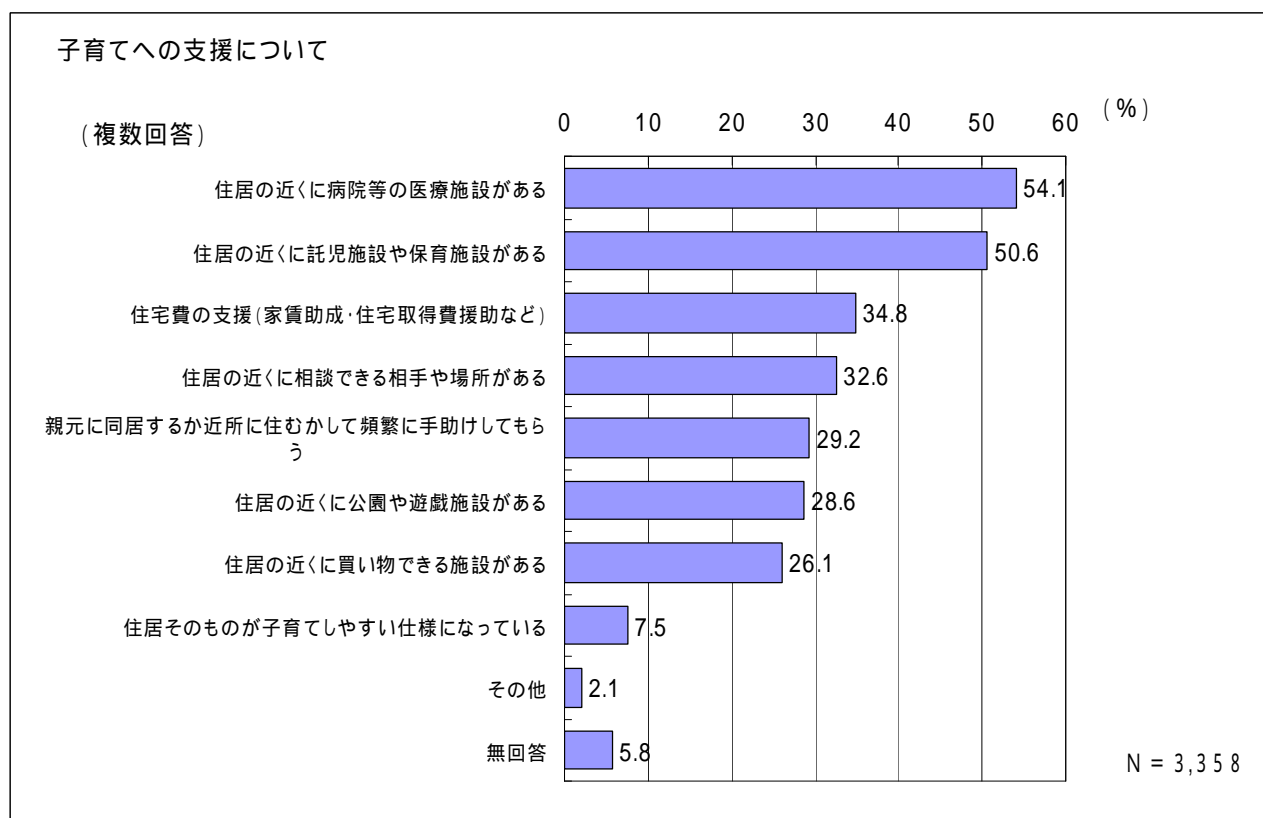
一方、「価格」については「普通」(60.7%)という評価が多い。

第 14 章 住まいの分野における子育て支援・高齢者支援について

近くに医療施設、託児施設、保育施設があれば助けになる

(1) 子育てへの支援

問 44 住まいの分野でこれがあれば子育てにおいて助けになると思う項目は何ですか。
(複数回答)

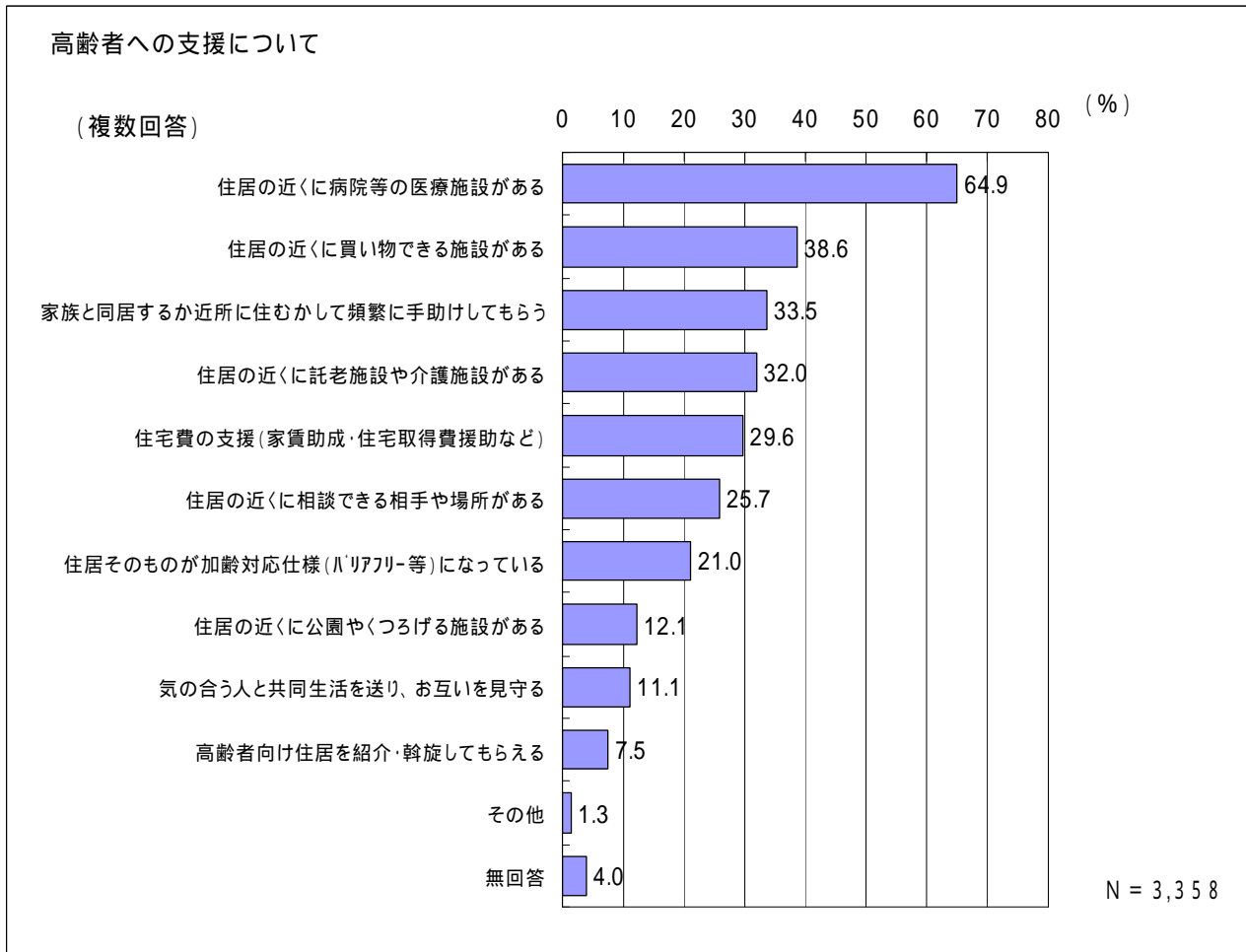


住まいの分野で子育てにおいて助けになるものは何かとたずねたところ、「住居の近くに病院等の医療施設がある」が 54.1% で最多であり、次いで「住居の近くに託児施設や保育施設がある」が 50.6% と続いている。

(2) 高齢者への支援

病院などの医療施設や買い物できる施設があれば安心

問 45 住まいの分野でこれがあれば高齢の方が安心して暮らしていく助けになることは何ですか。(複数回答)



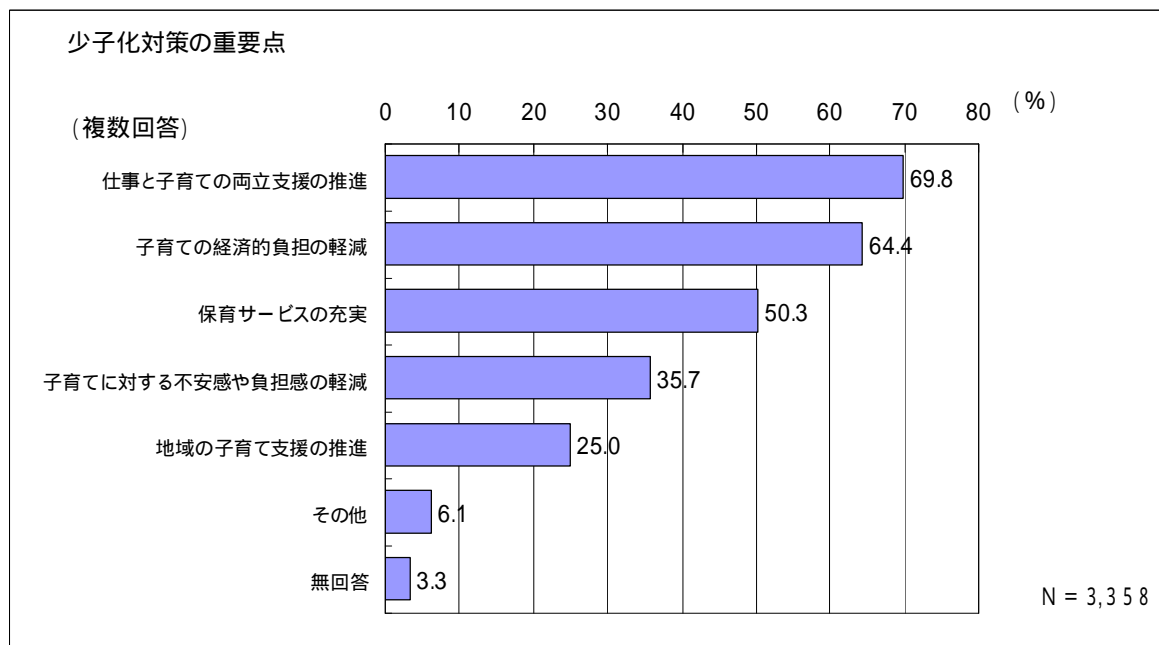
住まいの分野でこれがあれば高齢の方が安心して暮らしていく助けとなるものは何かとたずねたところ「住居の近くに病院等の医療施設がある」が64.9%で、次いで「住居の近くに買い物できる施設がある」が38.6%と続く。

第 15 章 少子化対策について

(1) 少子化対策の重要点

「仕事と子育ての両立支援の推進」がトップで 69.8%

問 46 少子化対策としてどのようなことが重要だと思いますか。(複数回答)

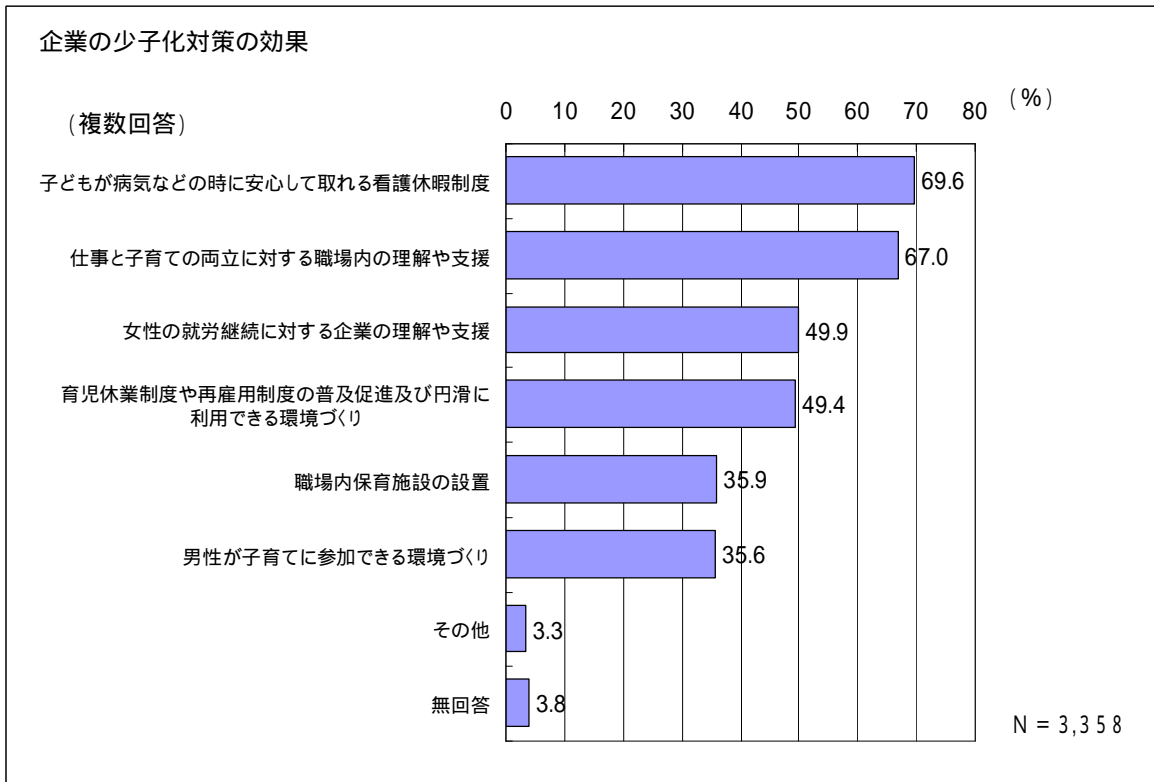


少子化対策としてどのようなことが重要だと思うかとたずねたところ、「仕事と子育ての両立支援の推進」が 69.8%で最多で、次いで、「子育ての経済的負担の軽減」(64.4%)、「保育サービスの充実」(50.3%)と続いている。

(2) 企業の少子化対策の効果

「看護休暇制度」や「仕事と子育ての両立する理解と支援」が望まれている

問 47 企業が取り組むことで少子化対策として効果があると思われる「仕事と子育ての両立支援・制度」はなんだと思いますか。(複数回答)



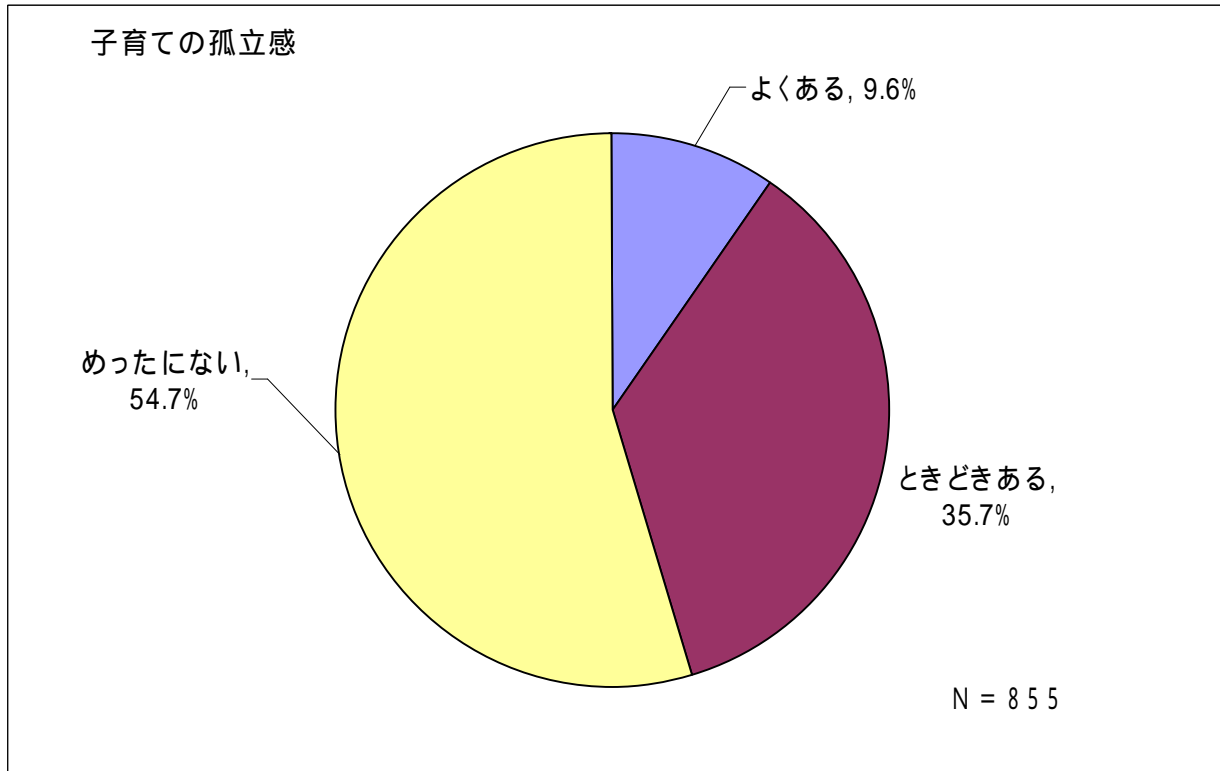
企業が取り組むべきと思う少子化対策としては、「子どもが病気などの時に安心して取れる看護休暇制度」が最多で 69.6%、次いで「仕事と子育ての両立に対する職場内の理解や支援」67.0%と続いている。

(3) 子育ての孤立感

「孤立感を感じる人」は 45.3%

問 48 現在、0歳から18歳までのお子さんを育てていらっしゃる方にお伺いします。

問 48-1 子育てしながら孤立感を感じることがありますか。(単数回答)

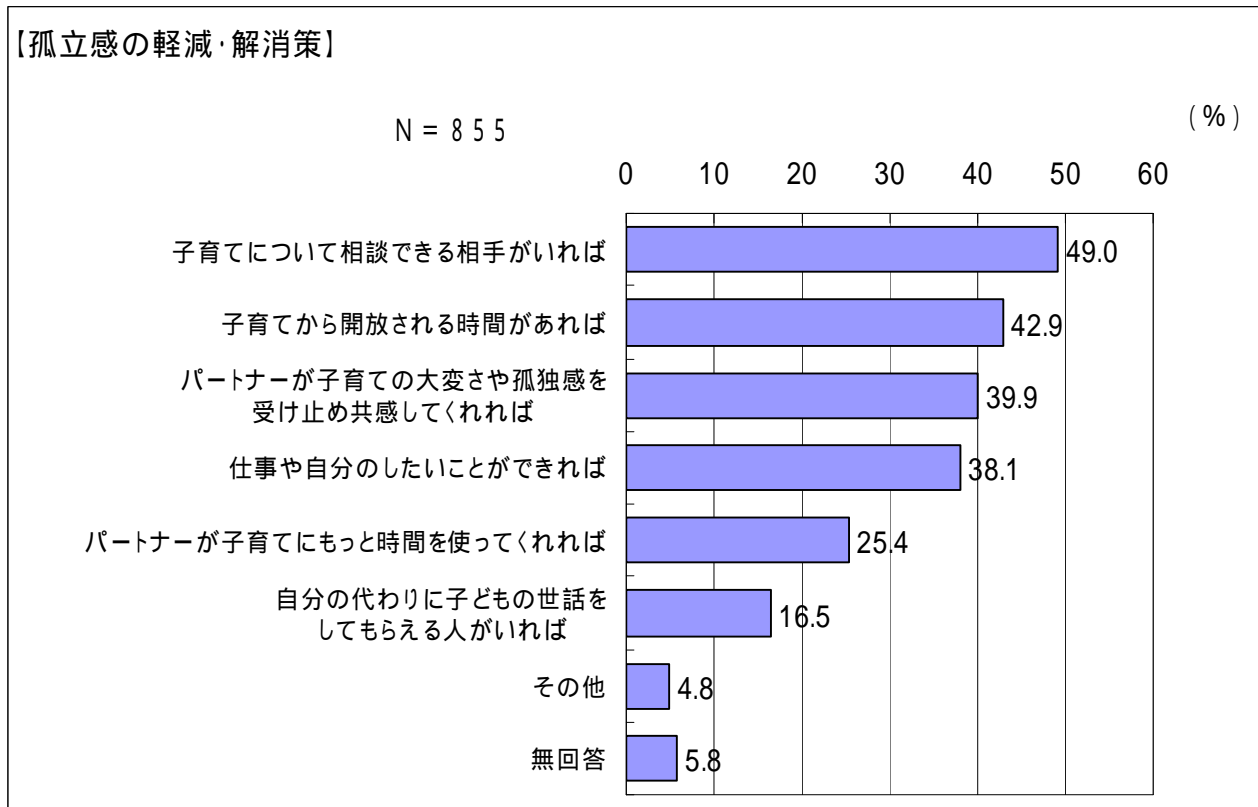


0歳から18歳までのお子さんを育てていらっしゃる方に子育てしながら孤立感を感じるかたずねたところ、「ときどきある」が 35.7%で、「よくある」9.6%と合わせれば 45.3%を占める。

(4) 孤立感が解消されるには

「子育てについて相談できる相手がいる」ことが 49.0%

問 48-2 どうすれば孤立感が軽減あるいは解消すると思いますか。(複数回答)

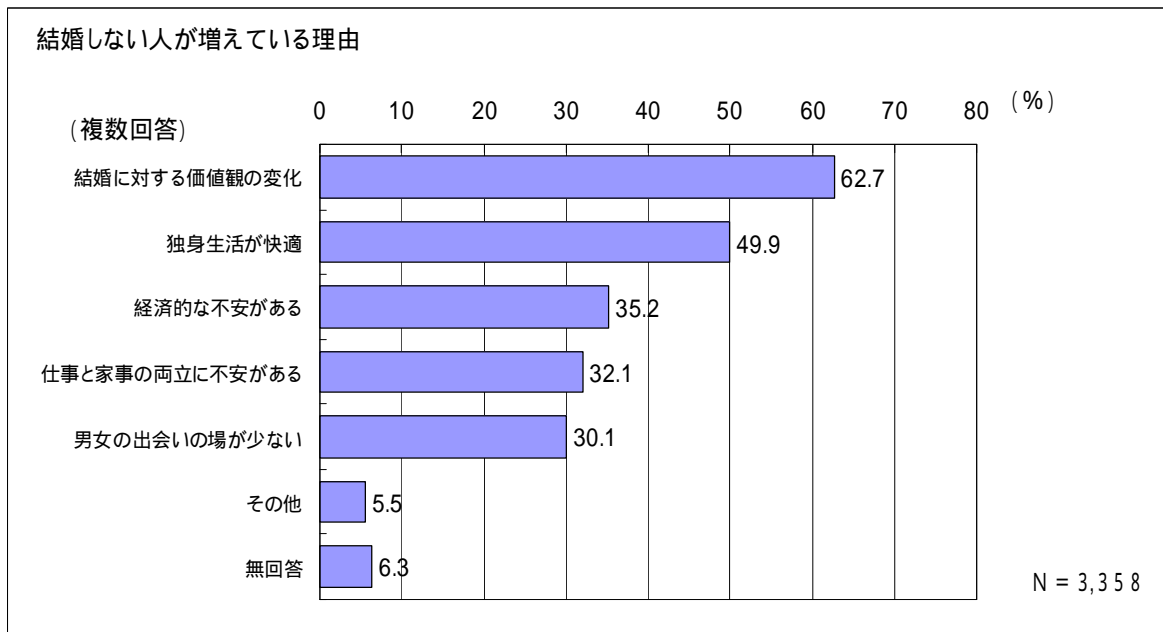


子育ての孤立感は、何によって解消できるかたずねたところ、「子育てについて相談できる相手がいれば」が最多で 49.0% となっている。

(5) 結婚しない人が増えている理由

結婚しない人が増えている理由のトップは「結婚に対する価値観の変化」

問 49 結婚しない人が増えている理由は何だとおもいますか。(複数回答)



結婚しない人が増えている理由についてたずねたところ、「結婚に対する価値観の変化」が最多で62.7%、次いで「独身生活が快適」が49.9%、「経済的な不安がある」が35.2%と続いている。